

10 月 留学月例報告書【フランス・ニース】

01- 出発に向けて

留学の内定をいただいてからは、学校の課題と留学の準備に追われる日々でした。ビザの取得に向けての準備は本当に大変でした。6月末に大使館の予約を取りましたが、繁忙期ということもあり、実際に予約が取れたのは出発の1週間前となる8月末でした。その後も、不足書類が直前に発覚したり、大使館での支払いに必要な小銭を準備したり（為替で金額が微妙に変わるので必須です）と、予想以上に手間がかかりました。それでも、大使館訪問の4日後には無事ビザを取得することができ、安心しました。ちなみに、パリで会った日本人の交換留学生の方はビザ代行サービスを6万円で頼んだそうです。全般的にサポートしてくれるので、不安な人や準備がギリギリな場合は検討してみるのもありかもしれません。



02- 学校について

私が通っている学校では、授業は朝9時から夕方4時半まで行われています。特徴的なのは、1日または半日を使って同じ授業を受ける形式です。また、講義形式の授業は少なく、グループでのブレインストーミングや、個人プロジェクトの時間が多い点が印象的です。授業内容はサステナブルデザインやプロダクトデザインが中心で、グラフィックデザインを専攻している私にとっては、少々難しく感じる部分もあります。

さらに、授業間や昼休みの時間が日本よりも1.5倍ほど長く設定されています。休み時間の過ごし方も自由で、教室内で過ごす人は少なく、多くの学生が外のベンチで話をしたり、共有スペースでくつろいでいます。

言語面では、授業中にフランス語で意見が交わされることも多く、すべてを理解するのは容易ではありませんが、なんとか周りの人のサポートで助けられながら頑張っています。日常会話も基本的にはフランス語で行われるので、輪に入るのは少し難しいです。

03- フランスでの食事

私は日本から特に食べ物や調味料は持っていきませんでした。私自身お米よりも断然パン派なので、特に主食に関して困ることはあまりないです。ただ、日本の食材を扱うスーパーなどで日本のお米を買うととても高価なので、必要な方は持って行くのがいいと思います。普通のスーパーでも、タイ米やリゾット用のお米などは売っています。まだ購入したことはないのですが、機会があれば買ってみようと思います。

先日、近場のスーパーでキッコーマンの醤油を買ってみたのですが、日本の醤油とは少

し風味が違ったので、調味料も少しは持って行くと良いかもしれません。

フランスにはベーカリー (boulangerie) が街の至る所にあります。徒歩圏内に7店舗くらいはあります。バゲットは1本1ユーロ (約160円) ほどで買えるので、いろんなお店で買って食べ比べを楽しんでいます。クロワッサンやパンオショコラも1ユーロくらいで買えるので、学校のランチによく利用しています。

04- ちょっと困ったこと

渡仏して数日経った頃、フライトの疲れや時差ぼけ等が落ち着いたので、溜まった洗濯物を片付けようと洗濯機を使おうとしました。しかし、電源は入るものの、どれだけ操作しても洗濯が始まりませんでした。初めは、日本の洗濯機と勝手が違うので、使い方が間違っているかな〜と呑気に洗濯機と格闘していたのですが、1時間ほど試行錯誤しましたが、解決できず大家さんに相談しました。大家さんはすぐに対応して下さり、修理を試みてくれたり、修理業者を呼んでくれたり、さまざまな手を尽くしてくれましたが、結局洗濯機は故障していたらしく、洗濯機を回収されることになりました。その間、大家さんが自宅で私の洗濯物を洗ってくださるなど、大変親切に対応してくださいました。数日後、新しい洗濯機が到着したものの、今度はホースが割れていたため水漏れが発生し、再度修理対応が必要でした。翌日、ホースを取り替えてくれてやっと洗濯機問題が解決しました。この一連の問題が解決するまでに約1週間を要し、大家さんには何度も家に来ていただくことになり、少し申し訳なかったです。

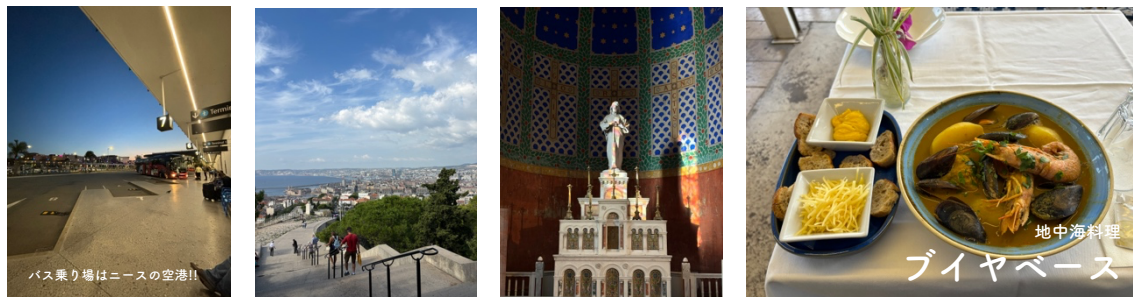


05- マルセイユへの小旅行

学校への提出書類としてフランス語または英語での出生証明書が必要だったので、渡航から約1週間経った頃、日本国総領事館を訪れるためにマルセイユへいきました。マルセイユには高速バスで向かいましたが、フランスの高速バスは遅延や運休が頻繁に発生するため、時間と気持ちに余裕を持つ必要があります。

実際、行きの便では予約していたバスが急遽運休となり、振替便も2時間遅延するという事態に見舞われました。急ぎ別会社の高速バスを予約し、予定より2時間遅れでようやくマルセイユに到着しました。なお、初めに予約していたバス代はバス会社にメールで問い合わせたところ、4日後に返金対応してもらえました。ただし、対応が遅かったり、返信がないケースも多いそうなので、メールはやや気持ち強めに送ることや、返事を気長に待つ心構えも必要だと思います。マルセイユの街は、主要な観光スポットを半日で回ることが可能なコンパクトな都市です。移動には1日券(5ユーロ)が便利で、

観光とあわせて効率的に移動することができました。帰りの便についても不安があったため、予約していた夜 22 時発のバスよりも早い時間のニース行の便を運行するバスの運転手に確認を取りました。予約していた便ではないため一度は断られたものの、出発直前になって運転手がわざわざ私を探し、乗車を許可してくれました。バスが来なくて野宿になったらどうしようという不安もあったので、この時は本当に助かりました。



06- 10 月末の Holiday

10 月末に 1 週間のホリデーがあったので、ニースを離れてパリに旅行してきました。パリはニースよりずっと北にあるので気温差がかなりあり、冬用の服が必要でした。

旅行中は、主に有名な観光地を巡りました。学生のビザを持っていると、美術館はほとんど無料で入ることができます。ただ、どの観光地も予約が必要な場合が多いので注意が必要です。当日券を買うこともできますが、早朝から並んだり、長い行列に並ぶ必要があったりします。予定が決まっているなら、早めに予約しておく方が安心です。予約時に時間指定が必要ですが、多少遅れても対応してもらえることが多いようで（場所によりませんが、30 分～1 時間くらいは大丈夫なこともあるみたいです）、そこまで神経質にならなくても大丈夫でした。また、通常は学生割引がない施設でも、曜日によっては学生無料の日があったりするので、調べておくとさらにお得に楽しめると思います。また、パリの交通機関に関しては、Navigo の 1 週間チケットを活用しました。このチケットはゾーン 1-5(パリ市内全般)を購入すれば、街中から少し離れたヴェルサイユ宮殿や、ディズニーランドパリ、サヴォア邸などにも行けるのでおすすめです。チケットはアプリか駅の窓口で購入できます。個人的には顔写真が必要だったりするのでアプリで買うのがおすすめです。ただし、このチケットは月曜日始まりで 1 週間単位の計算になるので、木曜日以降にパリに行く場合や週末だけの旅行には向いていません。私もこのチケットを活用するために、月曜日スタートで旅行の予定を組みました。

個人的にパリの中でおすすめなのが「サヴォア邸」です。パリ市内は観光客でとても賑わっていて、人混みでかなり疲れることがありますが、サヴォア邸は市内から少し離れているため観光客が少なく、静かな雰囲気を楽しむことができます。旅行中に人混みに疲れた時の息抜きとしておすすめです。また、ルーブル美術館ももちろんおすすめなのですが、人混みと作品量の多さ、敷地の広さで結構疲れます。なので、予定時間は結構多く取っておくことをお勧めします。実際絵画に興味がない私でも約 5 時間滞在しまし

たが、全てを回することはできませんでした。

スリにあうなどの大きな問題が起こることはなかったのですが、最終日に時間に余裕ができたのでオペラ座の見学チケットをオンラインで取ったところ、間違えて二日後のチケットを購入してしまっていることがオペラ座の入り口で判明しました。入口の女性がとても親切な方で、チケット売り場に行けば交換してもらえるかもと言ってくれたので、なんとかチケット売り場で今日のチケットと交換してくれて、見学することができました。

パリの一人旅はとても楽しかったです。友人や家族と一緒に行けばまた違う楽しみ方ができそうなので、機会があればまた行きたいと思いました。

